

1200万署名・NPT代表派遣 News

発行：原水爆禁止日本協議会 電話：03 5842 6031 FAX：03 5842 6033

URL <http://www.antiatom.org/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2009年10月19日 No.6

「核兵器のない世界を」署名全国共通チラシ完成！！

いつでもどこでも誰にでも

2010年NPTへむけ、全国で積極的な活用を



表面



裏面

日本原水協は、10月24日の国連軍縮週間初日の第2次全国いっせい署名行動に間に合うように全国共通のチラシを作製しました。(22日完成予定) さっそく全日本民医連から30万枚をはじめ、全国から注文が寄せられています。いつでもどこでも誰にでも使える署名チラシをぜひご活用下さい。

* 注文・発送の件で、ご不明な点は日本原水協事務局までお問合せください。(03 5842 6031)

10月24日第2次いっせい署名行動(19日現在)

- 北海道 札幌市大通公園
- 新潟県 長岡市
- 東京都 渋谷八千公前 12:00~13:30
- 埼玉県 大宮駅西口で大宣伝
- 愛知県 名古屋市栄マルエイスカイル前 11:30~12:30
- 三重県 津市
- 石川県 金沢市
- 京都府 三条河原町でリレー宣伝 14:00~17:00
- 岡山県 県全体で統一行動。岡山市の行動は午前から夜まで丸一日署名街頭宣伝。
- 広島県 広島市内2カ所
- 福岡県 県内3カ所(福岡市、大牟田市、飯塚市)
- 長崎県 長崎市内「浜町」
- 大分県 県内3カ所(大分市、別府市、日田市)
- 宮崎県 県内21カ所

行動を予定している。県はお知らせ下さい。



最新情報はコチラ 原水協通信 blog | <http://www.antiatom.org/g-news/>
携帯電話からもアクセスできます。

25 万署名へ推進委員会発足 京都

「核兵器のない世界を」署名・NPT代表派遣推進準備会と京都原水協は16日、2010年5月のNPT(核不拡散条約)再検討会議にむけて、京都からの代表派遣と国際署名を推進するための「学習と交流のつどい」を開催、18団体・地域から30人が参加しました。

京都原水協の小杉功事務局長は、国連安保理での核兵器廃絶をめざす決議の採択や、鳩山新政権が安保理で被爆国として核兵器廃絶へのリーダーシップの発揮と非核三原則の堅持を世界に明言したことなどを紹介し、核兵器廃絶を現実のものにする絶好の機会が生まれていることを強調、NPT再検討会議で核兵器廃絶条約締結の交渉開始の合意をかちとるために、「京都から50人以上をニューヨークに送り出そう。国際署名25万筆を集めよう」と呼びかけました。

参加者からは、「現在1100筆の署名を集めている。街頭や集会、同窓会など人が集まるあらゆる所で訴えている。2000筆を目標にがんばる」(第二中央病院友の会会員)、「署名推進のために独自のグッズ、60本の横断幕、チャレンジャーバッジをつくった。職員200人がチャレンジャーに登録している。11月には学習会も計画している。5万の目標をやりとげたい」(民医連本部)、「2005年のNPT会議では悔しい思いをして帰ってきた。有馬頼底さんの金閣寺に署名の協力をお願いしている」(被爆者)、「1組合員5筆、10万筆を目標にしている。世界大会に参加した青年が先頭に立ってがんばっている」(京建労本部)などの経験、決意が出されました。最後に推進委員会の発足を確認し閉会しました。



講演する京都原水協・小杉功事務局長(10月16日)

NPT ニューヨーク行動10人代表派遣と14万署名成功めざす 奈良

奈良県原水協は10月13日、大和郡山市内で09年原水爆禁止世界大会報告会をおこない、41人が参加しました。

今年の世界大会には、奈良県から2000年以降では最高となる42人が参加、報告・感想文集も初めて発行しました。報告会では、参加者が全体会の熱気や、被爆者との交流、基地や碑めぐりなどの分科会で学んだ感動を報告しました。元大阪フィルハーモニー交響楽団員で、被爆者でもある山崎隆さんが、広島での被爆体験を語り、平和への思いを込めてチェロを演奏。大きな拍手が贈られました。

事務局から、来年のNPT再検討会議ニューヨーク行動に10人の派遣をめざすこと、「核兵器のない世界を」署名を14万人分集めること、そのために実行委員会を発足させることが報告され、世界大会を成功させた力でとりくもうとの訴えがありました。

生駒市で平和委員会などが署名センターをつくって1万2000筆を目標に行動しているととりくみや、NPTに代表を送ろうとバザーなどにとりくんでいる健生会などから報告がありました。

参加者からは「被爆体験を聞いて核廃絶のととりくみを進めていくことの大切さを感じました。チェロの演奏に感激しました」などの感想が寄せられました。

チームに分かれて団地で署名行動、訪問した15軒すべてでいただく組も 和歌山

和歌山県原水協は10月11日、川永団地に訪問して署名活動を行いました。7月の鳴滝団地につづき2回目。

和歌山市原水協、新婦人など6人が3つのチームに分かれて行動し、1時間で54筆の署名が集まりました。2日前のオバマ大統領のノーベル平和賞受賞が話題になり、創価学会の世話役の人も署名するなど核兵器廃絶に関心が高く、訪問した15軒すべてで署名をいただくチームも生まれました。

